【分科会用】施策評価シート

(分科会名) 総務分科会

第五次総合計画上の	6	自治経営 〜多様な主体と共創し共育するまちをめざして〜
位置づけ	6-3	持続可能な行政力をはぐくむ
(施策の体系)	6-3-3	公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する
施策評価対象の 選定理由 (評価のポイント)	よる税収の る。また、 が生じ、地	の老朽化に伴い、多額の更新・維持管理費用が見込まれる中、人口減少に減少や社会保障関連経費の増大など、ますます厳しい財政状況が予想され地区ごとに進める公共施設再配置は、行政サービスや利便性の低下の懸念域住民の合意形成に向けて相当の困難が予想されることから、計画どおりで理が行われているか施策の検証を行う。

1 施策評価のための評価対象事業

事業No.	科目	事業名
1	02-01-03-004-001-011	公共施設適正管理基金積立金
2	02-01-05-006-101-001	市有財産維持管理事業
3	02-01-05-006-101-004	未利用地利活用事業

2 施策	評価	施策評価
評価 A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する	
評価 B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	В
評価 C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	評価
評価 D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務	ōŦIШ

3 施策評価に対する具体的な評価の記述

人口減少と施設者朽化により、公共施設や市有財産の適正管理・活用が大きな課題となっている。公共施設適正管理基金積立金は、計画どおり積立てが進んでいて評価できるが、将来の財源不足に備えた精査が必要である。市有財産維持管理事業と未利用地利活用事業は、一定の成果がある一方で、事業費の変動や住民要望への対応不足など課題も残る。今後は、人口減少による厳しい財政状況を見据え、今年度改定される柏崎市公共施設等総合管理計画に沿って、財政面だけでなく行政サービスの維持や住民合意を重視しながら、公共施設の統廃合・再編や未利用地の利活用を進めていく必要がある。

4 施策実現と政策実現に向けた今後の提案

(見直し事業名や予算・人員の増減等にも言及のこと)

- 1 基金・財源の確保:公共施設適正管理基金は、計画的に積み立てつつ、物価や人件費の変動を見越して柔軟に精査していただきたい。
- 2 計画の見直しと合意形成:人口減少や財政状況に応じて公共施設等総合管理計画を適時見直し、施設再配置では、地域住民への丁寧な説明により合意形成を図っていただきたい。
- 3 維持管理の効率化:利用率や稼働率を踏まえて市有財産の管理を効率化し、安全性とコストの両立を図っていただきたい。
- 4 未利用地の利活用:長期放置を避け、公募や公売を活用して早期に利活用方針を決定し、市民の利便性や施策展開につなげられるよう研究を重ねていただきたい。
- 5 将来を見据えた取捨選択:人口減少社会を踏まえ、必要な施設を残す観点から統廃合・再編を進め、持続可能なまちづくりを目指していただきたい。

【分科会用】施策評価シート

(分科会名) 文教厚生分科会

第五次総合計画上の位置づけ、	3	健康・福祉 ~『健やかさ』をつなぐまちをめざして~
	3-2	子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
(施策の体系)		結婚や出産を望む人の希望をかなえる
施策評価対象の 選定理由 (評価のポイント)	口減少・少 状があると を発行し、 家庭で養育	西次総合計画後期基本計画の最終年度として、柏崎市の重要課題である人子高齢化においては、若者の出会いの場が少なく、結婚に結び付かない現ま考える。柏崎市では、独自で3歳までの子どものいる家庭へ子育て応援券電子化にも取り組んできている。また、1・2歳児の保育料を無料化し、「している子どもに対しても応援券を発行している。これらが柏崎市で安心」を産み育てたいと思える支援となっていることが重要と考え、施策評価対験にした。

1 施策評価のための評価対象事業

事業No.	科目	事業名
1	01-03-02-01-047-013-001	結婚活動応援事業
2	01-03-02-01-047-002-021	子育て応援券事業
3	01-03-02-01-047-002-025	家庭養育応援券事業

2 施策	平価	施策評価
評価 A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する	
評価 B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	В
評価 C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	評価
評価 D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務	<u>5</u> ∓1Ш

3 施策評価に対する具体的な評価の記述

第五次総合計画後期基本計画の重点戦略「子どもを取り巻く環境の充実」を掲げて重点的に取り組んできたものの、少子化に歯止めが掛からない現状がある。出会いから結婚、妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援を充実させ、安心して子どもを生み育てたいと思えるまちづくりを進めていることは評価する。しかしながら、施策全体が更なる効果を発揮できるように、結婚活動応援事業の成果を上げるための取組の見直しや家庭養育応援券事業の利用促進に向けての情報発信が必要であると考え、B評価とした。

4 施策実現と政策実現に向けた今後の提案

(見直し事業名や予算・人員の増減等にも言及のこと)

柏崎市の重要課題である人口減少・少子高齢化において、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまでの支援を 充実させ、安心して子どもを生み育てたいと思える施策を実現するため、以下のことを提案する。

- ・結婚活動応援事業では、日本人の考え方として、出産は「結婚が前提」となる風土があるため、行政が婚活支援を行うことは大事な視点と考える。また、行政が行うことでの安心感もある。一定の成果は上げているものの、今後は、委託先との更なる連携、広域展開や民間サービスの利活用、ニーズ把握による効果的な運用を求めたい。
- •子育て応援券事業では、電子チケット導入で利用者の利便性と事業者や行政側の業務効率が向上。利用率も97%と高く、子育て世代の経済支援に貢献できている。今後は、出産祝いや入学時の支援及び利用できる事業所の更なる拡充に期待する。
- ・家庭養育応援券事業では、柏崎市の独自施策「1・2歳児の保育料無料化」や国の施策である「3~5歳児の保育料無償化」の対象になっていない、1~5歳の子どもを家庭で養育している世帯への経済的支援として有効と考える。今後は、より一層の電子チケットの取得率向上と取得チケットの利用促進に向けての情報発信とともに、利用者の声を反映した更なる拡充に期待する。

【分科会用】施策評価シート

(分科会名) 産業建設分科会

第五次総合計画上の	① 防災・生活・環境 ~『頼もしさ』をつなぐまちをめざして~
位置づけ	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
(施策の体系)	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る
施策評価対象の 選定理由 (評価のポイント)	手入れがされていない空き家や土地などが散見される。人口減少・少子高齢化に歯止めが掛からない状況下において、「良好な生活を支える環境を守る」ことは、今後更に必要になると考え選定した。

1 施策評価のための評価対象事業

事業No.	科目	事業名
1	08-05-04-097-001-001	都市公園管理事業
2	08-01-02-082-013-001	住まい快適リフォーム事業
3	08-01-02-082-018-001	空き家対策事業

2 施策評価		施策評価
評価 Α 施策の	民現に近づいているので、このまま推進する	
評価 B 施策の実	現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	В
評価 С 施策目的	の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	評価
評価 D 施策目的	の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務	<u>5∓1</u> Ш

3 施策評価に対する具体的な評価の記述

「良好な生活を支える環境を守る」ために、住居及び近隣環境の整備は重要な施策であると評価できる。しかし、人口減少・少子高齢化の影響による課題が山積するため、更なる改善・見直しが必要と考える。

都市公園管理事業においては、日常管理を委託する地元町内会等の高齢化から来る担い手不足が予測され、今後も継続できる管理体制が必要と考える。

住まい快適リフォーム事業においては、住環境の向上による定住・移住の促進、子育て世帯の支援、市内建築事業者への経済効果、空き家対策としても効果的であり、今後の事業展開に期待する。

空き家対策事業においては、空き家の増加が社会問題化している中、所有者の管理意識の向上、市民相談、啓発活動、行政指導など粘り強い対応が行われている。さらには、危険な空き家への緊急的措置なども行われているが、空き家の増加と危険空き家の老朽化という実状から緊急かつ重要な事業であると考える。 以上のことからB評価とした。

4 施策実現と政策実現に向けた今後の提案

(見直し事業名や予算・人員の増減等にも言及のこと)

市民の安心・安全、生活の質の向上のためにも、事業の継続・充実が必要である。

都市公園管理事業は、都市公園施設長寿命化計画の検証とともに、町内会等の作業負荷を軽減し、市民の利用 実態や今後のニーズに合った都市公園としてもらいたい。

住まい快適リフォーム事業は、事業を継続し、脱炭素、環境負荷の軽減につなげてもらいたい。

空き家対策事業は、空き家にしない啓発活動に終活支援を加えるとともに、勧告を繰り返す特定空家等や空き 店舗ビルについて国に抜本的な解決策を求めていただきたい。